

令和 6 年度 9月号
学校だより



横浜市立今宿小学校

<今宿小学校学校教育目標>

- ☆☆育てたい「いまじゅくの子」☆☆
- い ○いきいきとした心と体をつくる子(体)
 - ま ○学びをいかそうとする子(知)
 - じ ○自分とみんなを大切にする子(徳)
 - ゆ ○ゆめをもち人の役に立とうとする子(公)
 - く ○くらしをよりよくしようとし世界に目を向ける子(開)



今宿小学校
WEB ページ

ほって、うめて、かためる

校長 藤巻 孝之

夏休みが始まる直前、子どもたち(我々職員も同様ですが)の目の前に立ちふさがったのは校舎建て替えのための仮囲い用フェンスでした。突然現れた2メートル近い高さの壁に誰もが威圧感と新校舎建設に向けた今小の大きな転換期を実感しました。

あれから一か月、すでに校庭に面した第一校舎前の学年花壇や藤棚は撤去され、きれいに均されています。夏休み中はプールの新しい循環ろ過機の入替え、校庭に埋められている水道管、ガス管の移設が中心となる工事でした。校長室からはダンプカーが2台、パワーショベルが1台、ユンボが4台見えます。酷暑の中、本校のために従事されている方々には頭が下がります。本当にありがとうございます。そのようなことを思いながら校庭を眺めているうちに、ぼんやりと考え始めました。

今年の夏の工事、簡単に言うと「掘る」「埋める」「固める」といったところかな。こんなに簡単に表現すると関係の方々からおしかりを受けてしまうかも…。でも、この作業、物事を前に進めたり、新たな事業を始めたりする際の動きと似ているよなあ。

まずは下地や素地を確かめるため、またこれから始まる作業に向けて基盤となる部分の修正や改善を進めるために掘るでしょ。現状を確かめる、アセスメントする。そして必要な手を加えながら今後を見通す、といったところかな。

次は、表向きには何の変化もなかったかのように元の状態に戻すために埋めるでしょ。修正や改善を加えた状況を保護するため、安全を確保するため、といったところかな。

そして様々な環境や外圧にも負けないようにしっかり固めて定着させるでしょ。修正や改善されたものが壊れないようにするため、安定して機能するため、といったところかな。

この工程、実際に新たな校舎が立ち上がる時にも、きっと行われるのだろうな。いわゆる基礎を作るということだよな。

夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。7/19の朝会で「いつだって元気が一番!夏休みを終えて、また元気なみんなに会えることを楽しみにしています!」と子どもたちに伝えました。日々の学校生活で子どもたちの元気を育て、引き出し、発揮されるパワーを実感したいと思います。その元気パワーを引き出すため、私たちは子どもたちの可能性を求めて心を「ほって」、たくさんの魅力や楽しみにあふれたしかけによって子どもたちに新たな力を「うめて」、その力が発揮できるようにしっかり「かためる」ことを進めていきます。ますます力強く立ち上がる子どもたちによって、新しい校舎も立ち上がっていくことでしょう。引き続き、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。